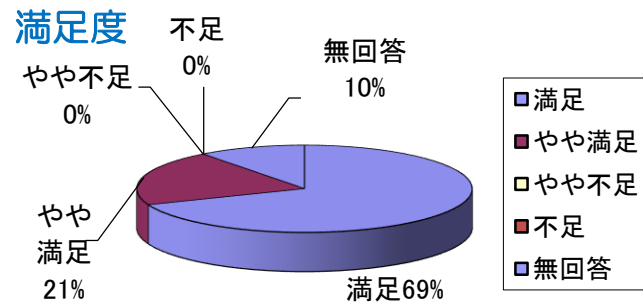


2月2日(日)大切な家族だから！ 坂東市役所1階多目的ホール ペット同行避難セミナー

防災士でもあるドッグトレーナー松本秀樹氏の講話は、私たちの住まいのハザードマップを通して、どこへどのように避難するかを確認し、家族の一員であるペットの避難袋の必要性など、とても興味深いお話でした。(ドッグフードや水など5日分、容器、容器ふき取り洗剤、臭わない汚物袋、飼い主との写真や常備薬、狂犬病予防注射済証など)また、事前に避難場所の確認をしておくことや日頃からゲージに入るしつけなどが大切であることを教えていただきました。ペットを飼っている方、苦手な方全ての人のために、いざという時の備えをしたいと思いました。



感想・意見

30代

松本君からお話を聞くことができてうれしかったです。説得力が違う。

60代

資料があるので、家族にも共有できる。改めて、プロの講師の説明は分かりやすく良かった。

60代

必要なご飯、水の量など具体的に知ることができて良かったです。



5月21日(火) 総会 坂東市役所1階 多目的ホール

今年度は、岩井ライオンズクラブ華の会が加入し、構成団体は8団体となり総会を開催しました。

市長をはじめご来賓の方々のご臨席の元、議事はすべて承認されました。アトラクションでは、坂東市女性フォーラムとガールスカウト茨城県第8団が活動発表をしました。女性団体は魅力ある活動をこれからも継続して参ります。



会員募集中！

各団体の問合せ等詳しくは、坂東市役所市民協働課(Tel.0297-21-2183)へ。個人でも入会可。

編集後記

「ぱーとなー」は市内の女性団体がメインに活動している団体です。今年度もページをめくると、新しい企画を始め、色々な活動の様子がところ狭しというくらいに紹介されております。まだまだ女性の社会進出が遅れている世の中で、私たちは社会進出に一步踏み出しています。是非私達と一緒に活動してみませんか？お待ちしております。

発行：ぱんどう市女性団体協議会

ぱーとなー

ぱんどう市女性団体協議会 会報

Vol.19

《目的》 私たちは、市内の女性団体が相互に連携・協力することにより、構成団体の一層の活動強化並びに男女共同参画を推進することを目的とする。 ～規約第2条より～

10月26日(土)合併20周年記念 市町村連携事業 ダイバーシティ&インクルージョン推進講演会 「多様性のある社会で～違いを知ることの大切さを考える～」

主催：坂東市・ぱんどう市女性団体協議会・ダイバーシティ推進センター



俳優・タレント
そえじま じゅん
副島 淳氏

Profile

アメリカ人と日本人とのハーフ。生まれは蒲田、育ちは千葉の浦安。中身は日本人。大学時代までバスケットに没頭し、卒業後はモデルやタレントに興味を持ち雑誌中心にモデルとして活躍してきた。2017年4月からNHK「あさイチ」毎週火曜日 プレゼンターに抜擢されジャンルの垣根を越えて、キャラクターを活かし、映画、ドラマ、バラエティー、舞台、MC、CM等で活動中。



構成団体(連絡先)

坂東市女性フォーラム Tel. 0297-35-0912
坂東市更生保護女性会 Tel. 0297-44-0808
坂東こども劇場 Tel. 0297-36-3504
ぱんどう舞祭倶楽部 Tel. 080-6893-1207

ガールスカウト茨城県第8団 Tel. 0297-30-5171
坂東市交通安全母の会 Tel. 0297-21-2180
坂東市地域女性団体連絡会 Tel. 0297-21-2204
岩井ライオンズクラブ華の会 Tel. 0297-38-2667

会長あいさつ「ダイバーシティ&インクルージョン」社会の推進



会長
服部 恵子

坂東市合併20周年記念式典の第2部に当会は、県・市と共催しベルフォーレ大ホール満席の中、市民の皆様と共に合併20年の節目に大きな講演会が出来ました事を感謝申し上げます。講師はNHK『あさイチ』等、多方面で活躍中の副島淳さんで、多様性のある社会で違いを知る事の大切さを考える講演は大盛況でした。

2025年は国連が女性の地位向上を目指して定めた『国際女性年』から50年の節目の年です。毎年3月8日は『国際女性デー』で今年のテーマは「すべての女性の為に、権利・平等・エンパワーメントを」です。世界的な動向は現代では直ぐに日本や地方都市に連動し、条例や法制度を整えてきていますが、実際の生活にはまだまだ反映されていないのが現状です。子供や若者、女性、高齢者へのしわ寄せは解消されていません。地方再生の鍵を握るのは「女性活躍推進」と言われています。人口減少や介護問題、人手不足問題等の解消にも、女性が働きやすい環境を整えることは、最重要と考えます。

年齢や性別、国籍、障害の有無等で差別される事なく一人一人が尊重され、アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）のない、誰もが能力を発揮できる多様性のある社会の実現が急がれます。私達女性団体も手を取り合って行政と共に解決に向け進んでまいります。

特別寄稿

「小さな気づきを伝え合いたい」

小学校1年生が学校探検で校長室にやってきた時のことである。上の方をぐるっと見回していた男の子が「どうして女の子はいないの？」と尋ねた。『何か変』という違和感を伝えている。私は心がほのぼのとして、あちこちで話題にした。その子には説明はせず、「どうしてだろうね？」と違和感を共有したつもりである。心の中で『もうすぐ女の子（？）、仲間に入るよ。』とつぶやきながら。

子供の頃、アベベの走りに目を丸くし、日の丸飛行隊を応援しながら、この男の子のように、どうして女子選手はいないのかとは、思いもしなかった。今や女子がフルマラソンを走り、スキージャンプもとぶ。当たり前前の光景として、違和感なく見て応援している。

昨年の朝ドラ「虎に翼」では、女性が弁護士・裁判官を目指す道のりがいかに険しかったかを改めて実感した。

いずれの場合も、様々な意識改革、目指す人々・応援する人々の揺るがぬ思い、たゆまぬ努力に心から敬意を表したい。そして、小さな違和感に気づき、自分なりに考え、伝え合うことが人権尊重の第一歩と肝に銘じ、努力したい。



坂東市教育長
倉持 美由紀

ダイバーシティ&インクルージョン推進講演会のアンケート

感想・意見

30代

副島さんの軽快なトークが大変面白かった。今後も託児サービスのイベントをしてほしい。

30代

違いを自分で気づくか、気づかされるかがとても大きいということが衝撃でした。

60代

想像以上に面白く考えさせられた。小中学生にも聞かせたい内容だった。

70代以上

ダイバーシティ&インクルーシブの意味が良く分かりました。心がけます。

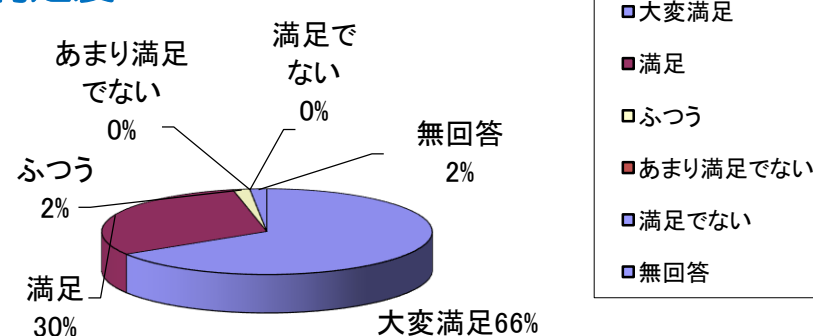
70代以上

ちょっとしたことで人の心を傷つけてしまうことがあるという事を改めて考えさせられました。

参加者数	562人
アンケート回答者数	120人



満足度



議会傍聴 9月12日(木)



一般質問に立たれた議員の方々から、教育環境問題や健康問題、坂東市にある県立自然博物館と連携した地域振興に関する今後の取組についてなどの質問が出されました。子どもたちや高齢者の人たちに寄り添った地域社会の構築、地域発展のために真剣に質問されている議員の方々に対して、坂東市初の女性教育長はじめ、執行部からの丁寧な答弁を傍聴することができ、大変勉強になりました。

常磐大学視察研修 6月27日(木)

《参加者の声》

令和5年12月に男女共同参画講演会の講師をしていただいた富田敬子氏が学長を務める常磐大学常磐短期大学に表敬訪問しました。大学は水戸市内の高台に位置し、樹木に囲まれてゆったりとしたキャンパスは県内で活躍する豊かな人材を育てることを目指しているという富田学長に共感を得ることができました。

また、大学の創始者である裁縫伝習所の諸澤みよ記念館も案内していただきました。水戸市民会館では館長の案内でやぐら広場など館内施設を見学しました。



エール いち 10月6日(日) 応援市 ホテルグリーンコア坂東



ばんどう応援市にてバザーを出店し、各団体が連携して女性団体の活動PRを行いました。

